

[トヨタ] HV 整備モード移行 (例 : プリウス ZVW50 #)

概要

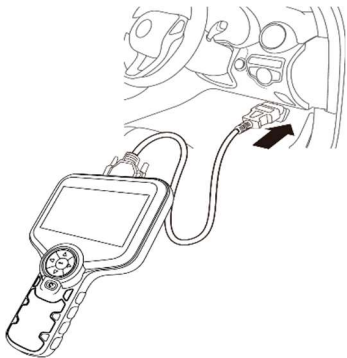
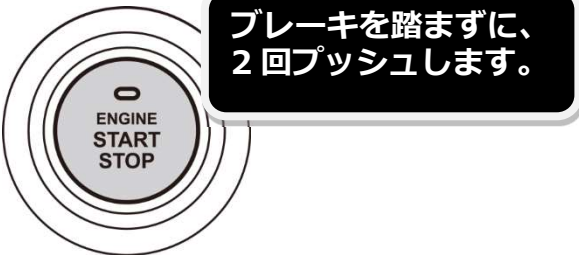
- エンジン暖機状態で HV バッテリの充電状態が良好な場合には、停車中にエンジンを自動停止します。このため点火時期の点検など、停車中でもエンジンの連続運転が必要なときは、整備モード(MAINTENANCE MODE)に移行する必要があります。
- TRC を採用しているため、スピードメーターテスターなどで前輪のみ回転させる場合は、整備モード(MAINTENANCE MODE または CERTIFICATION MODE)に移行して TRC を解除する必要があります。

注意 :

- 整備モード時、ウォーニングランプが点灯した場合は、整備モード解除後、TPM-5 を使用してダイアグコードを確認し、必ずダイアグコードを消去して下さい。

手順/操作

1. 整備モード移行

1.	イグニッションスイッチが OFF であることを確認し、TPM-5 を車両に接続します。	
2.	シフト位置が P ポジションであること、パーキングブレーキが OFF であることを確認し、イグニッションスイッチを ON にします。 (ブレーキペダルを踏まずに、プッシュスタートスイッチを 2 回押します)	
3.	『TPM-5 メニュー』画面より 〔特殊機能〕 - を選択して [ENTER] を押します。	

4.

〔メンテナンスモード〕を選択して [ENTER] を押します。

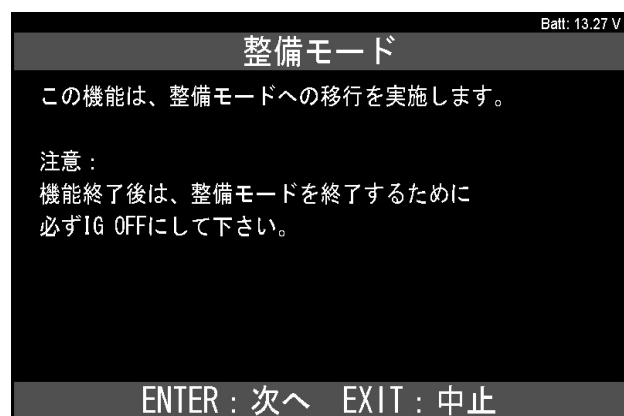


『トヨタ』 - 〔HV 整備モード〕を選択して [ENTER] を押します。

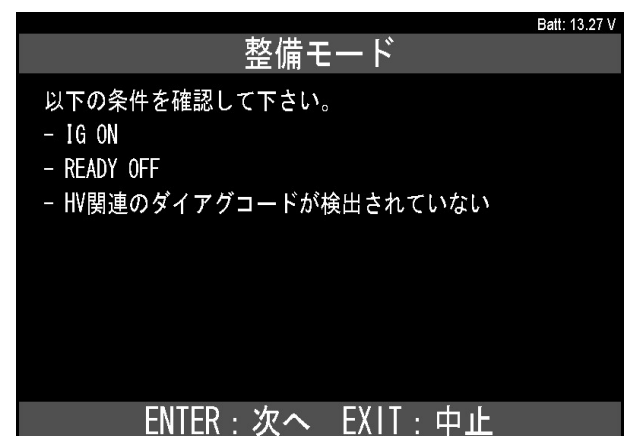


5.

注意事項を確認して、[ENTER] を押します。
(整備書での確認も必要です)

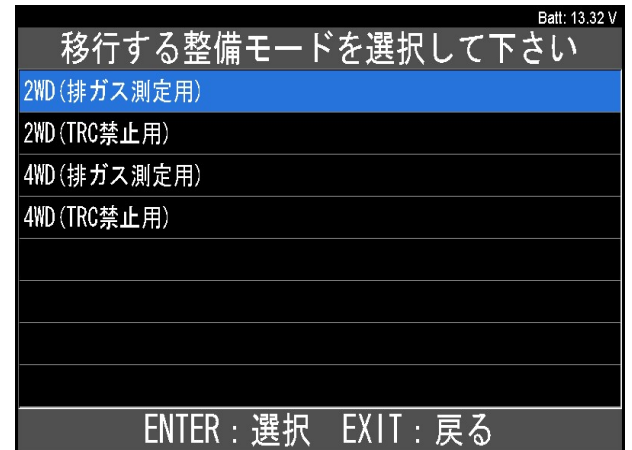


車両状態を確認して、[ENTER] を押します。



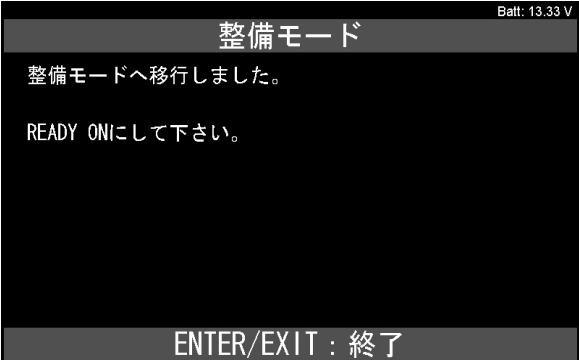
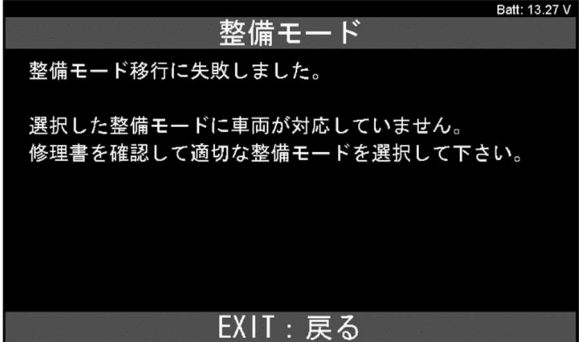
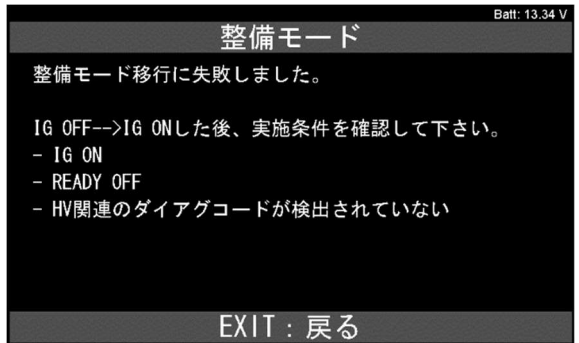
下記表を参考に、モードを選択します。

※4WD 車の場合、スピードメーターテスターなどで
前輪を回転させる場合は 2WD 整備モードに移行する
必要があります。



整備モード	主な使用目的	制御内容
MAINTENANCE MODE (2WD(排ガス測定用))	● 点火時期点検などのエンジン調整 車両検査時のアイドル CO/HC 点検など ● スピードメーターテスター、2 輪シャシダイナモメーターでの試験など	● シフトポジション P 時のエンジン強制アイドリング ● TRC 装置の作動禁止
CERTIFICATION MODE (2WD(TRC 禁止用))	● スピードメーターテスター、2 輪シャシダイナモメーターでの試験など	● TRC 装置の作動禁止

整備モード	主な使用目的	制御内容
MAINTENANCE MODE (4WD(排ガス測定用))	● 点火時期点検などのエンジン調整 車両検査時のアイドル CO/HC 点検など ● スピードメーターテスター、4 輪シャシダイナモメーターでの試験など	● シフトポジション P 時のエンジン強制アイドリング ● TRC 装置の作動禁止
CERTIFICATION MODE (4WD(TRC 禁止用))	● スピードメーターテスター、4 輪シャシダイナモメーターでの試験など	● TRC 装置の作動禁止

13. 「整備モードへ移行しました」が表示され、マルチディスプレイに“MAINTENANCE MODE”又は“CERTIFICATION MODE”が表示されます。ブレーキペダルを踏みながら、パワー(イグニッション)スイッチを押して、エンジンを始動して下さい。READY インジケータランプが点灯し、エンジンが連続運転になります。	 整備モード Batt: 13.33 V 整備モードへ移行しました。 READY ONにして下さい。 ENTER/EXIT : 終了
<u>エラー</u> <u>正常に完了しない場合は、</u> <u>右のエラー画面が表示されます。</u>	 整備モード Batt: 13.27 V 整備モード移行に失敗しました。 選択した整備モードに車両が対応していません。 修理書を確認して適切な整備モードを選択して下さい。 EXIT : 戻る  整備モード Batt: 13.34 V 整備モード移行に失敗しました。 IG OFF→IG ONした後、実施条件を確認して下さい。 - IG ON - READY OFF - HV関連のダイアグコードが検出されていない EXIT : 戻る

参考 :

- 整備モード中は、コンビネーションメータのハイブリッド・システム警告灯が 1 秒周期で点滅します。

注意 :

- 整備モードでのアイドル回転数は、アクセル OFF で約 1000r/min です。
- P ポジション時のみ、アクセルペダルを踏むとアクセル開度中程度までは約 1500r/min、それ以上全開までは約 2500r/min でレーシングします。
- 整備モード中にダイアグコードが記憶されると、マスターウォーニングが点灯します。
- 整備モードで作業中にマスターウォーニングが点灯し続けた場合は、整備モードを停止してダイアグコードの点検を行って下さい。

2. 整備モード解除

1.

『TPM-5 メインメニュー』の画面まで戻ります。その後イグニッションスイッチをOFF にします。



注意 :

- TPM-R で整備モードを終了しただけでは整備モード(MAINTENANCE MODE または CERTIFICATION MODE)は解除されないため、必ずイグニッション OFF にして下さい。
- 整備モード解除後、再度イグニッション ON し、マルチインフォメーションディスプレイの“MAINTENANCE MODE”または“CERTIFICATION MODE”表示が消灯していることを確認して下さい。